

## ニューズレター No.67

発行人 寺田 貢

2014(平成 26)年 4 月 16 日発行

日本リメディアル教育学会, ニューズレターNo.67 をお届けいたします。今回は,

- (1) 第 10 回全国大会開催案内
- (2) 2014(平成 26)年度定時総会のご案内
- (3) 第 16 回理事会報告
- (4) 関西支部会支部大会開催報告
- (5) マイページの利用開始

についてお知らせいたします。

### 第 10 回全国大会開催案内

日本リメディアル教育学会全国大会は、2005 年に清泉女子大学で開催された第一回大会以来、全国各地での開催を重ね、2014 年度、第 10 回大会を迎えることになりました。今年度は東京電機大学千住キャンパスを会場として全国大会および総会を以下の要領で開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

今回は第 10 回記念大会として、「リメディアル教育から新たな学びへ」をテーマとして、この 10 年を振り返るとともに、これからの大学教育を展望し、学会活動のさらなる発展を図る大会としたいと考えています。

1.会場:東京電機大学千住キャンパス 2号館

〒120-8551 東京都足立区千住旭町 5 番

アクセス: <http://web.dendai.ac.jp/access/tokyosenju.html>

2.会期:2014 年 8 月 20 日(水)~22 日(金)

(1)おもな実行委員会企画

1)基調講演(21 日 11 時~12 時 30 分)市川伸一(東京大学教授)

「認知理論を教育実践に生かす-意味理解と思考過程を重視した学習指導に向けて」

2)市川伸一教授コーディネイトの研修(21 日 13 時 30 分~15 時)

「全員参加のワークショップ型研修-三面騷議法による授業検討会の体験」

(注)会場の都合により定員を 100 名としますので、先着順で 100 名となった時点で申込みを打ち切らせていただきます。申し込みは大会ホームページ上にあります。

3)記念講演(22 日 13 時~14 時)講師:姜尚中(聖学院大学学長)  
「いま若者のために大学ができること」(仮題)

4)記念シンポジウム(22 日 14 時 20 分~16 時)

登壇者:小野博(福岡大学教授)、赤堀侃司(白鷗大学教授)、馬場真知子(東京農工大学教授)

テーマ「学会の 10 年を振り返って-これからの大学教育を考える」(仮題)

(2)情報交換会

情報交換会 21 日(木)18 時~20 時

会場:東京電機大学千住キャンパス食堂

参加費:5,000 円

申込み方法:参加申込みの際に手続してください。

3.大会参加費(参加費には予稿集 1 部を含む)

正会員(個人) 事前申込み 4,000 円

当日申込み 5,000 円

非会員 事前申込み 5,000 円

当日申込み 5,000 円

4.大会参加申込み

円滑な大会運営のため、大会ホームページの参加申込みフォームから事前申込みをしていただけるようお願いいたします。4 月 14 日より受付を開始します。なお、本年度より事務局が国際文献社に移動したことから、ウェブサイトは大幅に変更され、申込み方法も新しくなります。参加申込み、展示申込み、研究発表申込みとも、わかりやすい画面が示されますので、その指示にしたがってお手続きをお願いします。なお、発表申込者につきましてはヘルプデスクも用意されます。

ヘルプデスク:[jade-desk\\_at\\_bunken.co.jp](mailto:jade-desk_at_bunken.co.jp)([\\_at\\_](mailto:jade-desk_at_bunken.co.jp)を@に書き換えてください)

5.重要な期日

・参加申込み受付開始 4 月 14 日(月)

・研究発表申込み締切り 5 月 16 日(金)

・研究発表採択通知 6 月 2 日(月)

・予稿原稿締切り 6 月 25 日(水)

(日本リメディアル教育学会第 10 回全国大会実行委員会)

## 2014(平成 26)年度定時総会のご案内

日本リメディアル教育学会会則第 13 条から第 16 までに定める総会を以下の日程で開催いたします。会員の皆さんはご出席ください。

日時:2014 年 8 月 21 日 17 時 30 分～17 時 50 分

議題:2013(平成 25)年度の決算書類の承認、その他

(会長 寺田 貢)

## 第 16 回理事会報告

下記の通り理事会が開催されました。

日時:2014 年 3 月 24 日(月):10 時～12 時半

場所:関西外国語大学

出席者:石毛 弓、小川 英生、小野田 正之助、鞍掛 哲治、小松川 浩、佐藤 尚子、鈴木 政浩、谷川 裕稔、寺田 貢、長尾 佳代子、中嶋 輝明、西 誠、水町 龍一、御園 真史、中園 篤典(以上理事、敬称略、50 音順)、中園 篤典(監事)、小川 洋、村上 裕美、鷲北 貴史

### 【審議事項】

#### 1. 会長の処分

会長からメーリングリストへの不適切な発言に関する説明と謝罪があった。特に処分はなく、会長の業務を継続することが認められた。

#### 2. 事後承認事項の確認

日本学術会議協力学術研究団体の変更届の提出、2 つの銀行口座(寄付金用・会費等収入用)の開設、全国大会用振込口座の開設、事務局業務担当者:書記(石毛、鈴木)、庶務(鞍掛)、会計(たなか、河住、長森)、事務局補佐の選任(廣田、田島、中山、野崎)、メーリングリストの開設(27 個、会計担当・庶務担当用を追加)、正会員証明書

#### 3. 会長・業務執行理事の業務報告

会長、全国大会実行委員会委員長、編集委員会委員長および将来構想検討委員会委員長(代読)からの業務報告があった。

#### 4. 2013 年度決算(案)、2014 年度予算(案)

2013 年度決算および 2014 年度予算の現状での案が紹介された。

#### 5. 全国大会準備状況

1)資料通りに提案がなされ、今後実行委員会で決定することとなった。

2)4/14 に Web の発表申し込みシステム稼働予定。5/16 締切。今回から Web システムを使用するので、会員 ID 等の入力で問題が発生する可能性がある。ID 等はホームページから照会が可能なようにする。大会参加申し込みをしないと発表申し込みができないようになっているので注意が必要。カード払いのシステムも使用可能になる予定。

3)これまで座長としていた呼称を司会に改め、事前に司会の依頼をする。7/28 大会参加締切とする。

4)大会テーマは会長・実行委員長に一任するとの議論があったが、今後修正の可能性もある(「リメディアル教育から新たな学びを」等)。

#### 5)日程について

・総会は 21 日の 16:30 から 17:00

・記念講演とワークショップ・研究発表 II を入れ替える可能性あり

・企業説明会を記念講演後に入れる可能性あり

・記念シンポジウムは聖学院大学学長の姜尚中氏等をゲストスピーカーに、プラス 10 年を振り返る内容を織り込む等の提案がなされた。また市川伸一氏を記念講演 1、記念シンポジウムの時間帯を前半 10 年を振り返るシンポジウム、後半を姜尚中氏に打診し記念講演 2 とする案が出された。

・部会企画は本日承認後一般発表に先駆けて各部会長に計画書の提出を依頼する(企画セッションの申し込みは一般に公開しない)。50 名以上の参加が見込まれるものとした。部会が使用できる予算が一部会 5 万円使用可能。

・参加費の変更(非会員は事前申し込みも当日参加も 5,000 円、それ以外は一律 1,000 円アップ)

#### 6. 編集委員会の体制

投稿論文の編集業務を事務局に委託することが承認された。編集委員が査読者を探し、査読者とのやりとりをして掲載の可否を決定。学会誌の組版も事務局に依頼したい。Web 上のシステム(有料)でこれまで手作業で進めていたことがある程度自動化できるようになる。投稿の際専門分野を指定してもらうことで、査読者探し容易になる。

第2号の発行日を4/1とすることについて議論され、継続的に検討することとした(新年度新入会する会員にも送付される)。

7. 業務報告書、事業計画書・事業報告書、企画提案書の書式統一した書式で作成・提出することが確認された。
8. 役員選挙方法の提案  
支部長・部会長が理事を必ず兼務するかどうかについて、WGで検討を進めることとなった。
9. 申し合わせ事項の提案  
配布された申し合わせ事項案を次回理事会までに各理事が検討することが確認された。
10. 金田前編集委員長への感謝状  
今夏大会で感謝状を贈呈することが確認された。今後会則で表彰制度を盛り込む方向で検討することが確認された。
11. バックナンバーの販売  
現在依頼にもとづき会長が順次送付しているが、今後事務局に委託する方向で考えることが確認された。
12. アンケート調査の提案  
学習指導要領が変わり転換期にあるので、全国の大学・短大等を対象にアンケート調査を実施することが確認された。専門の調査委員会を組織することが確認された。
13. 事務局長の選任
14. その他
  - 1)事務局補佐にオブザーバとして理事会に参加できるようになることが確認された。
  - 2)委員会開催のため、全国大会や関西支部会支部大会の前泊後泊の予算措置をすることが確認された。
  - 3)会長の仮払い分の前渡しをすることが確認された。

## 【報告事項】

- 1.会計処理の手順
- 2.学会運営に関する情報の共有と管理
- 3.その他
  - 1)WGの検討経過報告
  - 2)九州・沖縄支部会支部大会を12月に開催を計画
  - 3)中国四国支部会(島根大学)を10月25日に開催検討中

## 関西支部会支部大会開催報告

日本リメディアル教育学会第6回関西支部会支部大会は、以下のプログラムで、3月24日に関西外国語大学で開催されました。

13:00 開会 司会:笹井悦子(関西大学)

会長挨拶 寺田 貢(福岡大学)

関西支部会支部長挨拶 村上裕美(関西外国語大学短期大学部)

展示企業紹介:ラインズ(株)、(株)ラーズ、(株)ティエラコム、(株)旺文社、(株)エヌ・ティ・エス、(株)成美堂、(株)ワオ・コーポレーション

13:30 研究発表(発表・質疑応答 12分)

### 第1会場

- 1)田中周一(昭和大学):昭和大学富士吉田教育部における「図書館利用法」について
- 2)石毛 弓(大手前大学):大手前大学学習支援センターにおけるピアサポーター・トレーニング
- 3)西 誠(金沢工業大学):「情報のための統計」科目における学習力向上の取り組みと評価
- 4)水町龍一(湘南工科大学):「企業が求める数学力調査」アンケートの結果について
- 5)青柳達也(福岡大学):グローバル人材育成を視野に入れたコミュニケーション教育に関する一考察
- 6)村上裕美(関西外国語大学短期大学部):大学教員のコミュニケーション力向上への取り組み
- 7)谷川裕稔(四国大学短期大学部):「学修支援」と「学習支援」に係る概念枠組みについての一考察

### 第2会場

- 1)児玉英明(京都山大学教養教育研究・推進機構):教学組織から見たリメディアル教育
- 2)神崎秀嗣(京都大学ウイルス研究所):医療従事者養成における英語教育リメディアル教育の必要性
- 3)宇佐美彰規(立命館大学):早期入学決定者への通学型リメディアル英語講座の実践と検証
- 4)中村紘子(武庫川女子大学):リメディアルクラスへの英語絵本の導入効果について

5)石井研司(立命館大学):英語リメディアルクラスにおける自律性を促進するCALL授業デザインの試み

6)吉田三紀(近畿大学):リメディアル教育における発音指導の一提言

7)ウエイン ジュリアン(大阪体育大学):e-ラーニングを取り入れた英語ネイティブ教員による英会話の授業

8)鞍掛哲治他(鹿児島興業高等専門学校):外書輪講英単語リストの作成

15:15 休憩

15:30 講演

千々布敏弥(国立教育政策研究所):授業研究の観点による大学教育改革の可能性

17:30 情報交換会

## マイページの利用開始

学会ホームページにマイページのリンクを追加いたしました。

<https://bunken.org/jade/mypage/Login>

マイページにより、パスワードの変更、登録内容の確認・変更、会費納入状況の紹介、会員名簿の検索を行うことができます。

会員番号とパスワードは2月にお届けした会費請求書に記されていますが、不明の場合は事務局のメールアドレス

[jade-post\(at\)bunken.co.jp](mailto:jade-post(at)bunken.co.jp)

までお問い合わせください。(at)は@にお書き換えください。

## 会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限ります(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

## 原稿執筆要項などの改変

原稿表紙、割付見本(執筆要項)などの投稿に必要なファイルが、2014年1月6日から変更されております。さらに、掲載に至らせる原稿内容を作成するための一助として、原稿執筆ガイドラインを用意いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

詳しくは、<http://www.jade-web.org/jade/journal/journal.html> をご覧ください。

【文責】寺田 貢